

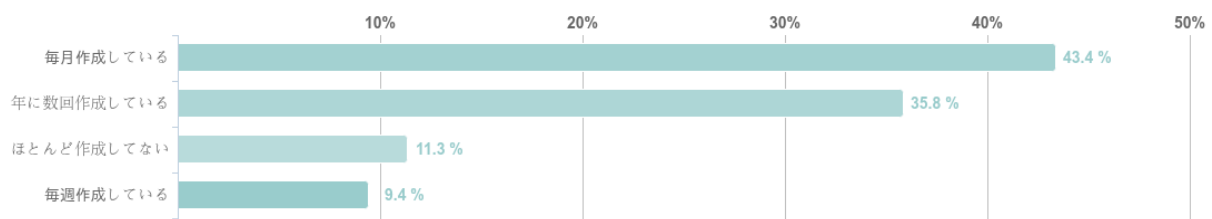
2026 年 8 月アンケート(2026 年 8 月 1 日～8 月 31 日実施)

レポート作成・集計ツールに関するアンケート

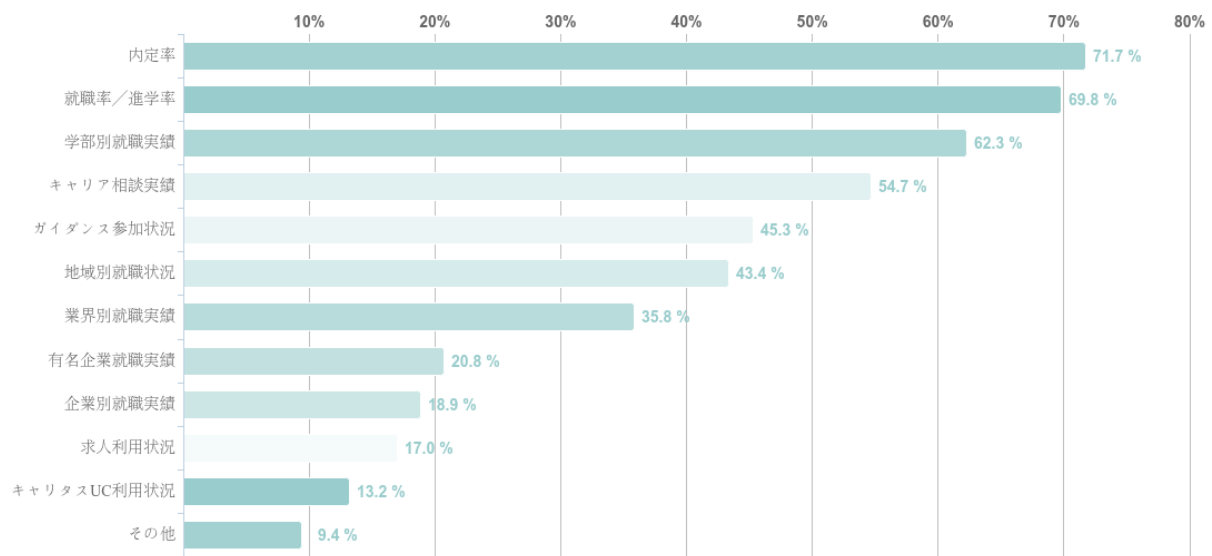
学内の会議体、文部科学省やハローワークなどに向けて、キャリア支援の現場で作成・提出しなければならないレポートや集計資料にはどのようなものがあり、どれほどの負荷となっているのか。学生データが集約されるキャリアス UC にできることは何か。今回のアンケートでは、新たな機能やツール開発のヒントとして、皆様の現状を確認させていただきました。

当月も多くの学校様にご協力いただき誠にありがとうございました。

Q. 普段、学内向けにレポートや集計資料を作成しているかについて



Q. 普段作成しているレポートや集計資料について



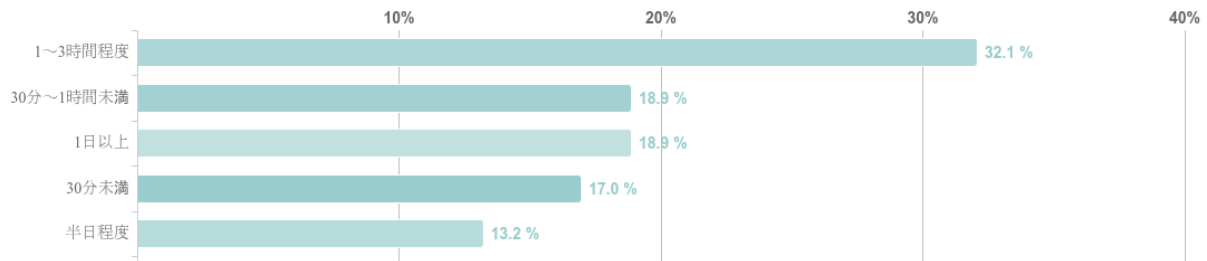
<サマリー>

学内向けにレポートや資料を作成している学校様は、「毎月作成している」が 43.4%、「年に数回作成している」が 35.8%。合計するとおよそ 8 割の学校様が、何らかのレポートや資料を作成されていました。

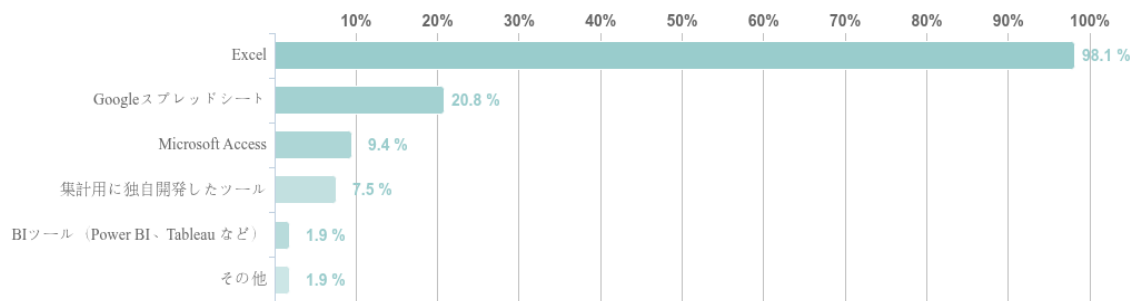
どのようなレポートや資料を作成しているかについては、「内定率」が 7 割超、「就職率／進学率」と「学部別就職実績」が 6 割を超え、学生たちの就職実績に対する資料化が求められていることが見て取れます。以下、「キャリア相談実績」(54.7%)、「ガイダンス参加状況」(45.3%)と続き、このあたりはキャリア支援の実績や効果測定に用いられているようです。「地域別就職状

況「業界別就職実績」も3割以上の学校様が作成されており、より細分化されたデータが求められているようです。

Q. 1回のレポートや資料作成に要する時間について



Q. 主に集計に利用しているツールについて

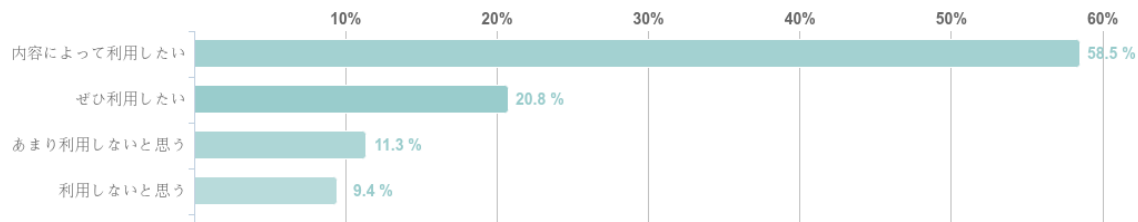


<サマリー>

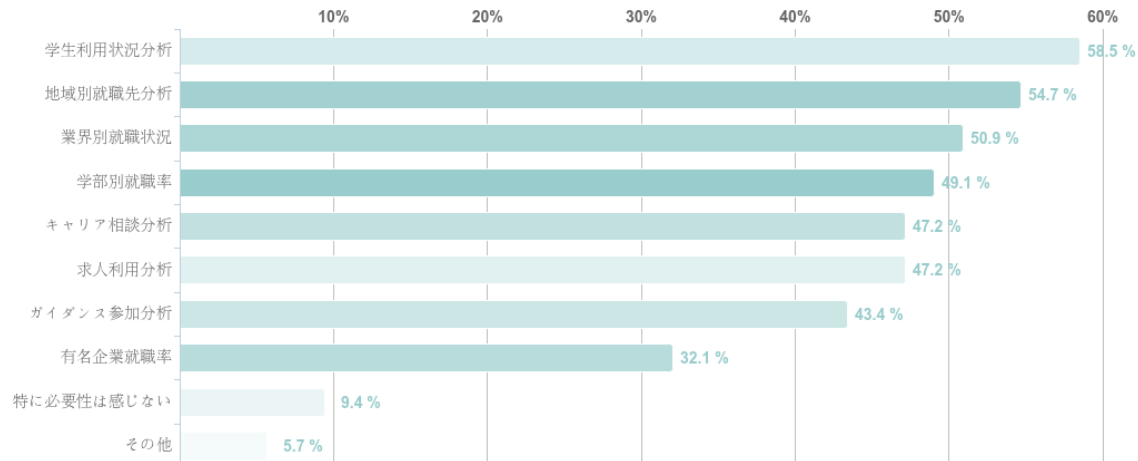
1回のレポートや資料作成に要する時間については、「1~3時間程度」が最多で32.1%。「30分~1時間未満」と「1日以上」が18.9%で続きました。作成する数や内容によって大きく差が出てくる部分ではありますが、業務効率化という観点から、ある程度の自動化・システム化が必要な分野と言えそうです。

主に集計に利用しているツールは、ほぼすべての学校様が「Excel」と回答。独自に関数やマクロ等を駆使して集計されている様子が垣間見えます。その他、少数にはなりますが、「集計用に独自開発したツール」(7.5%)、「BIツール(Power BI、Tableau など)」(1.9%)等、一歩先を行く取り組みも目を引きます。

Q. キャリタス UC 内の CSV を元にしたレポートや集計ツール利用のご意向について



Q. どのようなレポート・分析機能があると便利と思われるかについて



<サマリー>

キャリアタス UC から抽出できる CSV を元に、各種レポートや集計結果を作成できるツールがあった場合、利用したいと思われるかについては、「内容によって利用したい」が 58.5%、「ぜひ利用したい」が 20.8%、あわせて 8 割近くの学校様が前向きにお考えであることがわかりました。

どのようなレポート・分析機能があると便利かについては、「学生利用状況分析」「地域別就職先分析」「業界別就職状況」が半数を超え、「学部別就職率」「キャリア相談分析」「求人利用分析」「ガイダンス参加分析」が 4 割以上で続きました。多くのご意見ありがとうございました。

ご利用校様の声ピックアップ

当月寄せられたお客様の声をいくつかご紹介します。

機能改修等へのヒントとなりますので、ぜひ毎月のアンケートで皆様の声をお聞かせください。

<この機能があれば業務が楽になると思うもの>

- ・学内資料および公的機関に提出することを想定した、「科別(専攻別)進路状況一覧表」のように、学科・専攻(学校オリジナル項目を含む)ごとに「就職率」や「進路決定率」を自動算出・一覧出力できるレポート機能があると大変助かります。(四国／私立大学)
- ・キャリア相談の月別申し込み状況、相談内容(種別)毎件数、学年・学科別、経年での比較。(北海道東北／私立大学)
- ・異なる CSV データを統合したうえで抽出する機能(進路決定届+学校オリジナル項目 等) (関東／私立大学)

※過去の月次アンケート結果レポートはこちらから参照いただけます。

<https://support-uni.uc.career-tasu.jp/hc/ja/articles/14884930821135>